

勝原製作所が企画グループ新設

信頼のもののづくりを環境から



シンプルなデザインで統一（上から2F企画グループ、1Fの様子）

ステンレス加工、エクステリア製品の製造などを行う（株）勝原製作所（鳥取市南栄町二、勝原章社長）がこのほど、同社内に企画グループを新設した。

専任スタッフ2名を配置し、主にエクステリアなど、同社が得意とするステンレス素材を生かした商品開発に力を入れる。

同社ではこれまで、商品の企画から最終商品の製造・販売までを一貫して行う体制を整えており、出来上がった商品の品質にも定評がある。

県外などでは企画・デザイン専門の会社があり、製造は海外も含め外注、メーカーが販売管理を行うといった例が多く、それらを一社でまかなえるという例は、実は少ないのだという。

「そういった意味で外部から評価されている面もある。そのニーズにさらに応えるため、社内の企画・デザイン部門を強化

しようという意味でグループを新設した」と話す勝原社長。同社では企画部門の新設に伴い、事務所内の雰囲気も一新し

た。

「デザイン系の製品を作る会社としてはイメージも大切。従業員のモチベーション、自由な発想の生まれる環境づくりを考慮し、思い切って事務所のイメージを一新することにした」と、攻めの姿勢を見せる。コンセプトは「緑あふれるシンプルな空間」だ。机や収納といった家具類のデザインを統一し、オフィス内には観葉植物をふんだんに配置した。

大手メーカーのブランディングやロゴ作成などで有名なデザイナー、佐藤可士和氏。彼の「美しい場所でしか美しいものは生まれない」という言葉に感銘を受けたことも、このたびの事務所デザインの一新を後押しした。

勝原社長は「整理整頓、環境整備。工場については常に気にかけていたが、事務所も一緒だ」と。今後は環境づくりと並行して、社内の部署を超えた相互理解も進めていきたい」とした。